

---

# 初恋

y?i

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

初恋

[π-Ζ]

N 2368 M

【作者名】

y?  
i

【めりすじ】

「あの日から俺は琴を、俺のにするって決めてた。」

「そんな顔でこいつを見んなよ…。」

：

「好きなんだよ…。」

：

啓のもう攻撃！！

必見！！ (\*——\*) 』

「いってきまーす。」

ドアを勢いよくあけて私は走り出す。今日から入学する「桜ノ宮高校」に向かって。

ふう……

なんとか間に合つたけど…早く体育館…！…

キーンゴーンカ - :

あ～ヤバイ、ヤバイ - :

ようやく体育館に着いた私は体育館のドアを思いきり開けた。

ジンテ

一瞬、全員の視線を集めて私はゆっくり自分の席を探し始めた。

あつた、あつた！つと

席につくと、教頭先生らしき人が話出す。

もしかして、わたし待ちだつたかな……？

「ちょっと…こんな日に遅刻…琴はまつたく…」

「遅刻じゃないし…ピッタリだし…！」

「ハアー…」

呆れたような目で見てくる、私の幼なじみコト大親友の「田中 美香 - タナカミカ -」

頭の良い美香と同じ高校に通うために必死で勉強する……つもり  
だつたんだけど…

剣道の推薦で入れちゃった！！

そうー私は剣道一本！業界で知らないものはいないと歌われる…  
「富嶋 琴」様なのです。

…ってちょっとナルシストすぎた…？

じゃあそろそろ、校長の話でも…  
つてもつあわてるし…！

『それでは次に、生徒代表の言葉についてります。生徒代表、上地くんお願いします。』

『「キャー～キャー」』

「うおわ～…ナーッ…」

『バー歸れど、今日は入社祝のドリンク代は私が。」「ハフ……終わつまく』

『「#ヤー～#ヤー～…」「え～むり～…#ヤー…」』

『えー以上で入学式を終わります。』

一船を除き――、私の入学式は無事に終わっていました。

でも、同時に琴の波乱な高校生活が始まった…

「琴～わいつあ皆様出て来たとき固まつてたでしょー。」

「皆様？……つて？あの女子が騒ぎ出した時？…ひむさかつたな～

…」

「はあ…本当にも～…」

「あ～…！」じやない？

教室一。

へ～中学の教室とあんま変わらないな～

今、美香と一緒に教室に向かってたところ。

私達は偶然にも同じクラスだった！ ラッキー！

「じゃあ、席行くね。」

「うざ。じやあ後で。」

そして、私は自分の席に着いた。

隣の席はみつ編みの可愛らしい女子で、いろいろ話して友達になった。

そして、担任のナガエイ話が始まる…。

『え～、姫ちゃん入学おめでとう～姫ちゃんは寮生活をしてもいい訳です  
が……』

やつ。この高校は全寮制！  
部屋どんな感じだりつか

『それでは、今から寮の番号を発表します。』

：

『西鳥居、902号室』

? ? 何か番号急にとんでない? 303、304……902!?

『えへ、富嶋は推薦入学なので部屋は別だ。』

えへ！ 私だけとか…………美香と離れちやつたじやん。

『それじゃあ、これからそれぞれの寮にいってもらひ。階によつて寮長がいるから、寮長にいろいろ教えてもらつて。明日にそなえてくれ、今日はこれで終わりだ。』

そして、私は寮に向かつた。

「琴～！良いなー推薦入学！」

「えー何でー？美香と離れちゃったんだよー！」

「でも、寮長は皆様でしょ～」

「皆様～？……さつき言つてた人？」

「そう……スポーツ、勉強、何でも出来る王子様……そして私がこの高校に入学した理由……」

「えへへ……！」

美香を「ひまでせせるなんて、皆様って何者～！？」

「じゃあね。美香～また明日ね～」

「うん。バイバイ琴～いいな～啓様…」

まだ言つしるし…

階段をのまつて、のまつて……

「……」

902だから一番上の階  
あ、良い運動になるけどねー！

最後階段をあがつて行こうとしたとき。

私を見下げる人が見えた。

その人は馬鹿にしたように言った。

「君、推薦入学なんだ～そんな風には見えないけど。」

は?  
..

私は階段を勢いよく駆け上るとソイツに向かつて、叫んだ。

「アンタ、人を見た目だけで判断しないで!!自分だって何その長い髪、それにチャラチャラしちゃってさ!アンタこそ推薦入学なんてあり得ない!!」

はあー！

ム力つく！！

「フッ…一お前面白いな~!! 何号室だよ。」

「902だけど…」

私の寮生活が……

は～～～～～！？

「俺の部屋の隣だなーーー。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2368m/>

---

初恋

2010年10月9日22時30分発行